



エコ・ちがさき

第23回



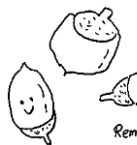
楽しみをみつけませんか！
お仲間と一緒に…



ちがさきレインボーフェスティバルにてまなびの市民講師のワークショップ

レインボーフェスティバルは、秋真っ盛りの里山公園を舞台にしたお祭りです。様々なステージと模擬店が里山公園を盛り上げます。今年も、ちがさきレインボーフェスティバルでは、まなびの市民講師による体験講座と展示発表を行います。いずれも、体験の秋にふさわしい催しです。

日々、生涯学習に取り組んでおられる市民講師の活動を知っていただく機会として、ぜひご参加ください。



開催日：令和元年11月10日（日） 会場：県立茅ヶ崎里山公園

時間：10：00～15：00（腹話術は12：00～）



トッピングスライム

透明のスライムにビーズやラメ、色をつけ自分だけのオリジナルスライム作り

講師：
沼田 純子さん
費用：300円



香りのインテリアアロマストーンを作ろう

てのひらサイズの香りのインテリアアロマストーン作り

講師：
木内 恭子さん
費用：500円



※雨天中止

いきなりできる腹話術

牛乳パックでパクパク人形を作って演じる

講師：
宮澤 玲子さん
費用：200円



レインボー花灯をつくろう

色とりどりの素材で、ふんわり明るい気球の灯りを作ります。

講師：Roots of tree
増子 恭子さん
費用：200円



小中学校で農業体験、食育 2018 年度記録作品展示及びポスター展示

- ①小学校等での作物の収穫、食育等の体験記録
- ②地域の大人と小中学生での稲作り等の体験記録

以上2点の作品及びポスター展示

講師：余田 康郎さん



その他、茅ヶ崎市がホストタウンに登録された北マケドニア共和国名産のワインの紹介ブースや「春の訪れを祝う3月のお祭り」で飾る赤と白の毛糸のオーナメント「マルティンキ」の作成ワークショップなどを開催します。



まなびの市民講師紹介

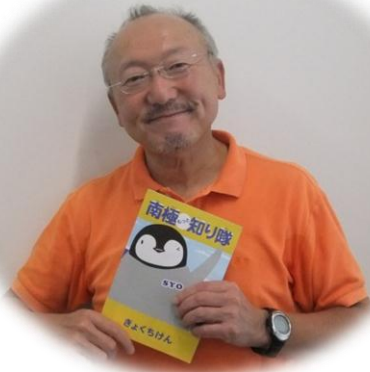
P2. 稲森 康治さん P3. フイケ アオ アロハ ハウオリ 山口 玲子さん



あなたの学びのお手伝い

子どもたちに

“未知の世界”への好奇心を！



元南極観測越冬隊員

いなもり
稲森

こうじ
康治さん



稲森さんのプロフィール

稲森さんは、旧郵政省電波研究所の職員として1986～1988年と1994～1996年の2回にわたって、南極の昭和基地での約1年4ヶ月間の越冬観測業務に参加されました。

稲森さんのお仕事は、無線通信に欠かせない地球の上空にある“電離層”の観測でしたが、30数名の越冬隊員達が厳しい南極で生活していくために必要な様々な共同作業（例えば、調理や施設機材の整備・修理等のサポート）にも従事されました。

お仕事の傍らには、ご趣味のカメラの技術を駆使して、オーロラ、ペンギン、アザラシ等滅多に見られない映像を約1万枚も収集されたそうです。

阪神淡路大震災時の情報不足、健康管理、日本国内への通信等々ご心配ご苦労も多かったと伺いましたが、日常では経験出来ない事を山ほど経験された感動と喜びの方が勝っているとお見受けしました。

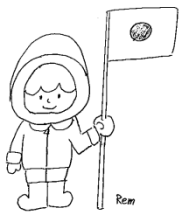
このことを市民の皆さんにお伝えするために、2年ほど前から「まなびの市民講師」として香川公民館等で講演活動を行っています。

稲森さんの講演を聴講して…

8月にハマミーナまなびプラザで実施された「学びフェスタ2019」で講演を伺いました。

まずは、南極観測船「しらせ」が持ち帰ってきた実物の南極の氷が溶けて行く時に、氷が出来る過程で閉じ込められた数万年前の空気が弾けるパチパチという音に感動しました。

次いで、稲森さんが撮影されてきた数々の美しい映像や南極の石を見せて頂き、蛍光灯を使ったオーロラの仕組みの実験等講演の対象のお子さん達のみならず高齢者の私も興味津々で、講師のお人柄からも、時間が惜しい楽しい一時でした。ご自分の経験と感動を皆さんに伝えたいと言う稲森さんの意気込みを感じました。

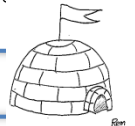


稲森さんに講演をお願いするには？

「生涯学習ガイドブック」（102ページ）で対象は、小学生・初級とありますが、インタビューに同席した女性編集委員からの質問が途切れなかった程、あらゆる階層が興味深くお話を聞けそうです。

国民に広く“南極観測事業”をPRするための講演では、「国立極地研究所」からパンフレット等の資料提供や防寒具などの貸出しを受け、使用しています。

会場は依頼者手配で、詳細は要相談です。



稲森 康治さんの連絡先

☎：090-8234-7815



「まなびの市民講師の横顔」

「ゆっくり ゆったり マイペース」

フイケ アオ アロハ ハウオリ



やまぐち

山口

れいこ

玲子さん

Rem



部屋に入られた時一瞬！海風の中でしなやかにフラを踊る姿が目には浮かびました。介護施設でのボランティアは笑顔で迎えてもらえて嬉しいと話される先生。

Q:「フラ」は踊りという意味ですね。何度か見たことはあってもよく解らなくて

A:ハワイでは海、山、太陽などの自然、人々の生活や踊りなどのすべての物事に神が存在すると信じられています。フラは古代に字を持たなかったハワイの人々が神様や自然への感謝の気持ちと祈りを捧げ伝える方法でした。手の動きで言葉を表すのは有名ですが、体の動きにもそれぞれ意味があります。種類は大きく分けると、祈りや感謝の意味を持ち打楽器に合わせて踊る「カヒコ」。西洋音楽が伝わり生まれたハワイアン音楽に合わせて踊る「アウアナ」があります。私たちのレッスンではCDを使います。

Q: 踊っている時に掛け声をかけますよね？

A:「カヘア」です。一緒に踊っている仲間やバンド仲間に「次の踊りはこれよ」などの意味合いでコミュニケーションを取っています。



Q: 衣装、振り付けなどの違いは？

A: 曲の解釈で変わります。レイは鳥の羽根や貝や植物などで作られます。カヒコはパウスカートで髪は下ろすことが多く見られます。アウアナはドレスやパウスカートで、髪をまとめたりとバラエティに富んで華やかな印象のものが見られます。愛しい人を花やレイで表現する時もあります。衣装は先生が曲をどのように解釈し、表現するかで異なってきます。ですから衣装も振り付けの一部、表現の一つとなります。

Q: フラを始めて変わるの？

A: 中腰なので腿の筋肉が鍛えられることと笑顔が多くなります。綺麗になり若くなる人が多いですよ。「○○ちゃんのお母さん」から個人の名前で呼ばれるようになり、横のつながりができます。

Q: 講座は何人ぐらいまで？

A: 10人くらいがベストですが、30人までOKです。動きやすい服装で裸足になります。(ルームシューズ可)。日本語の曲でも踊れます。

書ききれないほど質問しました。皆さんも講座を受けてフラの奥深さを！

フラの楽器
フイフヘケ



山口 玲子さんの連絡先 ☎: 090-6319-3307



市民講師登録人数 98人 (令和元年11月1日現在)

私の第一歩



『褒めて伸ばす』

文章サークル『あしあと』 平林 正信さん

かつて山岳会の掲示板に山行記を投稿していた頃のこと。山仲間の女性から「文章を書くサークルがあるんですが仲間になりませんか？」と誘われたのがきっかけで入会しました。以来身近な出来事を題材に楽しく作品を書き続けています。

例会では提出作品の朗読が終わると感想などを述べあいます。アドバイスをいただくと、伝えたいことが明確になったり読みやすくなったりするので、先輩の助言は貴重です。終わったあとは、その時々に出た話題で雑談になることが多く、それも楽しみなひとときです。

講師からは丁寧な添削とともに、やる気が湧いて来る講評を直筆でいただき『褒めて伸ばす』心が直に伝わってきます。

あっという間に7年！俺はこのサークルが大好きです！

場所：勤労市民会館 活動日：第3火曜日 10時～13時

月会費：1,500円 会員：6名（女性4名）

連絡先：080-1069-0151（代表：高鷲 志津子さん）



楽しいサークルです。
エッセイを書いてみたい方、
ちょっと覗いてみませんか？

街角

「また、お会いしましょう」

風薫る頃の或る昼近く、買物を終えた私は茅ヶ崎駅南口から鉄砲道を通って辻堂へ向かうバスに乗りました。すると、隣の席の女性から「往きもご一緒でしたね」と話かけられました。私のショッピングカートの図柄を覚えていたとのことでした。間もなくバスは発車。お互いに何気なしに親近感を持ったのでしょうか、どちらからともなく話が楽しく弾みました。私が降りる一つ手前のバス停で彼女は「ではお先に」と言って席を立ちました。私は「また、お目にかかりたいですね」と言いましたら「カートでわかりますわ」と応じて降りてゆきました。

2か月ほど過ぎて入道雲が浮かぶ日の午後、私は辻堂駅南口からバスに乗り、鉄砲道とラチエン通りとの交差点近くでバスを降りました。そして私に続いて降りた女性に後ろから「またお会いしましたわね」との声。振り向けばカートを覚えてくれていた女性でした。彼女は東に私は西にと「ではまた、いつか」と挨拶を交わして別れました。

親しい人々との友情の大切さは当然のことですが、行きずりの人との爽やかな心の触れ合いは、私たちが生きてゆくためのスパイスのようなもの、香水のようなものでありましょう。（S/W）



編集後記



「エコー・ちがさき」の作成で市役所に行く機会が増え、隣の工事の様子を見ながら通るのが、最近ちょっとした楽しみになっています。通る度に少しずつ形になっていくところを見ているのも楽しみです。1つですが、完成がなによりも楽しみです。来年の完成が待ち遠しいです。

(M.M.)

エコー・ちがさきの

編集委員のなにかまにありませんか？

初心者大歓迎！新しい仲間づくりと編集や取材の面白さで、あなたの新しい世界が開けますよ。

ひととき

短歌

笹百合の淡紅色の花咲きて少し熱
あるわれと思へり
小林 文子

荒れ庭にはまゆふの花白く咲き梅
雨の合間の夕ぐれの濃し
岩田 裕子

俳句（清水 呑舟選）

新涼や羽織りてみよか母の衣
鈴木 登志子

まだそこに時間を止めて秋の蝶
平井 佳歩

母の手を真似て子の手も盆踊り
目黒 圭子



*未発表の短歌・俳句作品を募集しています。下記あて先へ12月1日（日）までに御連絡ください。

いつでも どこでも だれでも なにからでも

*次号（第88号）の発行予定は、令和2年2月1日です。

発行・編集 エコー・ちがさき編集委員会

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号 茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課

TEL0467-82-1111(代表) FAX0467-57-8388 E-mail: bunkashougai@city.chigasaki.kanagawa.jp

PC用 URL <https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/> 携帯用 URL <http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/>